

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

製造者情報	会社	ホーザン株式会社
	住所	大阪市浪速区幸町1-2-12
	担当部門	マーケティンググループ
	お問い合わせ窓口	ホーザンテクニカルホットライン
	電話番号	06(6567)3132
製品番号	SG-116	
		SG-118-60 / SG-118-80 / SG-118-100 / SG-118-120 /
		SG-118-150 / SG-118-180 / SG-118-220
製品名	研磨材	

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 : 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肺の障害)

※ 記載のないものは、区分に該当しない又は分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による肺の障害

注意書き

安全対策 : 個人用保護具や集じん装置を使用し、ばく露を避けること。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
屋外又は、換気の良い場所でのみ使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

応急措置 : 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

保管 : 容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分 :

化学名又は一般名	CAS No.	含有量	官報公示整理番号	化学物質 管理促進法 (PRTR法)	労働安全衛生法	毒劇法
酸化アルミニウム	1344-28-1	99.6%以上	(1)-23	対象外	該当 189	対象外
シリカ (非晶質性)	7631-86-9	0.1%未満	(1)-548	対象外	対象外 ※	対象外
酸化ナトリウム	1313-59-3	0.5%以下	(1)-495	対象外	対象外	対象外
酸化鉄	1309-37-1	0.1%以下	(1)-357	対象外	対象外 ※	対象外

※含有量裾切値以下

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚を水で洗浄すること。
必要ならば、医師の診察／手当てを受けること。

眼に入った場合 : 数分間清浄な水で注意深く洗眼すること。
医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
医師の診察／手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
: 粘膜や呼吸器官を刺激する。
皮膚を刺激する。
眼を刺激する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 消火剤の種類は特に限定されない。
使ってはならない消火剤 : 情報なし
特有の危険有害性 : 特になし
消火を行う者の保護 : 自給式空気呼吸器、消火用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
: 作業の際には保護具を着用する(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)。
漏出区域に人が近づかないようにする。

環境に対する注意事項 : 粉じんを飛散させないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
: 真空掃除機で回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
 局所排気・全体換気 : 空気中の粉じん濃度を許容濃度以下に保つために、局所集じんを行う。
 接触回避 : 特になし

保管

- 技術的対策 : 特別な技術的対策はない。
 混触禁止物質 : 特になし
 保管条件 : 湿気のない所に保管する。
 安全な容器包装材料 : 密閉できる容器、包装材料に入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 :

化学名又は一般名	許容濃度	
	日本産業衛生学会(2022)	ACGIH(2019)
酸化アルミニウム	吸入性粉じん: 0.5mg/m ³ (第1種粉じん) 総粉じん: 2mg/m ³ (第1種粉じん)	設定されていない
シリカ(非晶質性)	吸入性粉じん: 2mg/m ³ (第3種粉じん) 総粉じん: 8mg/m ³ (第3種粉じん)	設定されていない
酸化ナトリウム	設定されていない	設定されていない
酸化鉄	吸入性粉じん: 1mg/m ³ (第2種粉じん) 総粉じん: 4mg/m ³ (第2種粉じん)	TWA: 5mg/m ³

設備対策 : 取扱いで、粉じんが発生するときは、粉じん濃度を許容濃度以下に保つために集じん装置を設置する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 防じんマスクを使用すること。
 手の保護具 : 保護手袋を使用すること。
 眼及び／又は顔面の保護具 : 防じん眼鏡を使用すること。
 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用すること。
 適切な衛生対策 : 製品を取扱っているときには、飲食・喫煙をしない。
 取扱い後は手をよく洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 粉末
外観・色	: 白色の結晶
臭い	: 情報なし
融点／凝固点	: 2054℃ ICSC
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 3000℃ ICSC
引火点	: 不燃性
可燃性	: 不燃性
pH	: 情報なし
密度及び／又は相対密度	: 3.97 ICSC
溶解度	: 水、酸に不溶
自然発火点	: 不燃性
燃焼性	: 不燃性
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: 不燃性
分解温度	: 情報なし
動粘性率	: 該当しない
n-オクタノール／水分配係数(log値)	: 該当しない
蒸気圧	: 情報なし
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 耐熱性、耐薬品性、耐食性

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 極めて安定である。
危険有害反応可能性	: ほとんどなし
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラットにおいてLD50>5000mg/kg(IUCLID 2000)の情報より区分に該当しない。
急性毒性(経皮、蒸気、粉じん・ミスト)	: 情報がなく分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	: 情報がなく分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 情報がなく分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 情報がなく分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足により分類できない。
発がん性	: ACGIHでA4に分類されていることから、区分に該当しない。
生殖毒性	: 情報がなく分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: 上気道刺激性(ICSC 2000)の情報から、区分3(気道刺激性)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: 酸化アルミニウムのばく露により、ヒトに肺線維症が見られた。
(EHC 1999)との情報から区分1(肺)とした。

誤えん有害性

: 情報がなく分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性) : 情報がなく分類できない。

水生環境有害性 長期(慢性) : 情報がなく分類できない。

生態毒性 : 情報がなく分類できない。

残留性・分解性 : 情報がなく分類できない。

生体蓄積性 : 情報がなく分類できない。

土壤中の移動性 : 情報がなく分類できない。

オゾン層への有害性 : 情報がなく分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 関連法規、地方自治体の基準に従って廃棄すること。
産業廃棄物処理業者に委託して処理すること。

汚染容器及び包装 : 関連法規、地方自治体の基準に従って処分すること。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 非該当

国連分類 : 非該当

国際規則

海上規制情報 : 非危険物

航空規制情報 : 非危険物

国内規制

陸上規制情報 : 非該当

海上規制情報 : 非危険物

航空規制情報 : 非危険物

特別な安全対策 : 運送に際しては容器に漏れのないことを確認し、転倒・落下・破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	： 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 酸化アルミニウム： 法第57条の2 施行令第18条の2 別表第9の189
粉じん障害防止規則	： 粉じん作業： 規則第1章 第2条
じん肺法	： 粉じん作業： 法第2条 施行規則第2条
水質汚濁防止法	： 施行令第3条の3(指定物質) アルミニウム及びその化合物
海洋汚染防止法	： 有害物質 なし
水道法	： 法第4条第4項(有害物質)、水質基準(H15 省令101号) 酸化アルミニウム 酸化ナトリウム

製品中の含有量や使用・保管する総数などの諸条件、また法令の改正により、必ずしも適用されるものではありません。
詳しくは各法令をご確認ください。

16. その他の情報

参考文献等

- 1) ICSC(2004) : <http://www.nihs.go.jp/ICSC/>
- 2) Sax(11th, 2004) :
- 3) HSDB(2005) :
- 4) ACGIH(2019) : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
- 5) 経済産業省 : http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/
- 6) 厚生労働省 : <http://www.mhlw.go.jp/>
- 7) 製品評価技術基盤機構 : <http://www.nite.go.jp/chem/index.html>
- 8) 日本産業衛生学会 : <https://www.sanei.or.jp/>

記載内容は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、製品の適応性・安全性を保証するものではありません。取扱いには十分注意してください。

このデータの使用による損失や損害について一切責任を負いません。ご使用者の責任において安全対策を実施の上、取扱い願います。
